

2017年度秋学期 授業アンケート「教員コメント」の「FD委員会総括」

FD委員会

<座学>

1. 授業内容を「難しい」「やや難しい」と回答する学生が、教養、専門、語学に関係なく多いことが傾向としてうかがえます。しかし、ほとんどの授業において、学生は「満足」「ほぼ満足」と回答しており、概ねいずれの授業でも授業目的を達成できているものと評価できます。
2. 具体的な改善については、アンケートに書かれた要求をそのまま修正するのではなく、教員が納得できないところについては学生への説明を丁寧にするることによって、授業目的を理解してもらうよう努力していることがうかがえました。自身の授業の特性を踏まえて、適切な対応に苦慮されている様子も窺えました。
3. スライドや板書の方法への改善、レジュメ作成やパワーポイント資料等の配布物の工夫や学生の理解や興味を促す新聞記事やDVDなどの教材を補足的に活用している例も散見され、各教員が工夫をし、また改善した授業方法に手応えを感じていることも窺えました。
4. ただし、予習・復習については、ほとんどしてこない場合が多いとの結果も窺えました。多くの先生方が、学生達の予習・復習の取り組みが少ないことを問題視され、これをどのように改善するかについて悩んでおられるようでした。予習・復習の回答が良好な科目は、アンケート全体の結果も良好のようで、予習・復習の促進が学生達の講義内容の理解を深め、これが講義の満足度を高めるという好循環を生んでいるようです。
5. 空調設備、授業設備の問題は今学期においてもやはり挙げられており、残念なことにより改善が進んでいないこともあるようです。学生・教員・事務との間でさらなる改善のための理解と努力が必要であると考えます。

<演習・実習系科目>

1. 全般的にいずれの科目でも学生の満足度は高い良好な評価を受けておられるようでした。ただし、基礎演習科目では学生からの評価は高いというコメントが多い半面、学生の人数が多く演習の教育効果をあげるのが難しいとの意見も散見されました。
2. 学生の演習への取り組み意識を改善しようとする記述も多くありました。学生の主体性を促すことを演習時の対応では特に意識しておられるようでした。
3. 合宿等のほか、共同作業やアクティブラーニング、ゼミ旅行などを通じて、教員とゼミ生相互の良好な関係を構築し、学生の意欲付けに繋げて教育効果を高めようとする試みが積極的に行われていました。
4. 専門演習Ⅱでは、就職活動とのバランスの難しさについての記述がありました。一人一

人の学生の予定や進み方が異なり、個別事情に配慮しているコメントが目につきました。

<語学>

1. 語学においても「難しい」「やや難しい」と回答する学生が多いようでした。しかし、いずれの言語でも学生の授業満足度が高いようです。授業の目的にあわせた教材選択や、学生の興味を引くような題材選択などの成果だろうと考えられます。結果として、学生の満足度も高いようで、評価されている先生方が多いようでした。
2. 学生の予習・復習という言葉が、教員コメントでは頻出しています。予習復習の充実が語学習得・上達に直接反映されるからでしょう。そうした中で、学生間の習熟度格差が開いていく問題への対応の難しさは、語学教育特有の問題でもあります。
3. 非常勤講師の先生からは、同じ先生が何クラスも担当しているケースが多く、これらのクラスでの授業評価にばらつきがあり、クラスの受講生の語学レベルによって授業評価が左右される傾向があるとのコメントがありました。改善点として授業レベルを挙げている先生方が多かったです。「授業の難易度に対する学生の反応を総じて気にかける」、「レベルに応じた教科書の選定、授業の進め方に配慮する」といったような記述が目立ちました。
4. 再履修クラスでは、「出席はするが語学が苦手」で再履修と、「語学は苦手ではないが出席不足」で再履修が混在しているため、上記の苦慮がより大きいようです。

<総括>

1. 例年の教員コメントに接して、これまで以上に教員の授業改善に取り組む姿勢が真摯であるとの印象を持ちます。コメントの多くからうかがえるのは、先生方の授業への熱意と、一人一人の学生に丁寧に接しようとする態度でした。
2. 学生の要求と、教員の授業理念に差異が見られることもあります。要求に応じて改善しようとする気持ちと、そうした場合でも安易に引きずられないようにすることの苦悩も察せられました。大多数の学生はあまり意見を言わないため、一部の意見かもしれませんが、授業理念や授業方針を学生に丁寧に伝えることが大切でしょう。このような自身の授業スタイルを維持しつつ、学生の満足度を高める努力をしている様子がうかがえました。
3. 例年目立つ教員コメントに、多くの学生が授業を難しいと感じ、それへの対応を苦慮されている様子ですが、本学の教員は授業レベルをあまり下げないように企図し、授業目的を達成するため、様々な工夫によって、「分かりやすさ」と「質の高さ」を両立させていっていることが高い満足度につながっているように窺えました。このような努力を惜しまない先生方のおかげで、学生の理解度の向上と高い満足度につながってくれています。FD委員会として先生方の日々のご尽力に厚く感謝を申し上げます。

以上